

貨物事業拡大に向け、

767-300型ボーイング・コンバーティッド・フレイターを導入 ～2007年度以降、767-300ER型旅客機(3機)を貨物専用機に改造～

ANA グループは、今後の貨物事業の拡大に向けて、現在所有している旅客機を貨物機に改造した上で、導入することを決定致しました。改造を予定しているのは、現在ANAグループで運航している 767-300ER 型旅客機で、2007 年度下期から 2008 年度にかけて 3 機の 767-300 型 BCF(ボーイング・コンバーティッド・フレイター)を導入いたします。767-300ER 型旅客機から貨物機への改造は、世界で初めてのことであり、ANA グループは、767-300 型 BCF を最初に導入するエアライン(ローンチカスタマー)となります。

ANA グループでは、航空貨物事業を当社事業の 3 本柱の1つと位置づけ、深夜貨物定期便を含めた国内・国際航空貨物ネットワークの拡充を図っており、現在、767-300 型貨物専用機の 1 機体制から、2006 年度末までにさらに 3 機の新造機を導入し、4 機体制とする予定です。

今回、767-300BCF の発注により、貨物専用機をさらに 3 機増機し、国内深夜貨物便や近・中距離アジア路線などの国際線に導入することを予定しており、日本郵政公社との提携による貨物機運航会社にて運航し、さらに低コストで高品質なサービスを提供してまいります。

ANA は、フリート戦略のもと、767-300ER 型旅客機を機齢の高い順に退役を進め、代わりに新世代の機材となる 787 を導入してまいりますが、今後退役を予定している 767-300ER 型旅客機を改造することにより、ANA が既に保有している資産をより効率的に活用できるだけでなく、新造機を購入するよりもコストを抑えることができるなど、コスト削減効果も期待できます。



ボーイング 767-300BCF(イメージ映像)

以上